

日本ミャンマー豊友会
第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデスティ 氏名 毛受史江

この度は、第29回スタディーツアーにお誘いいただきありがとうございました。
10周年という節目に緑さんからお声がけがあったことが、偶然ではなく、必然なことだったのだと感じております。社員さんも普段味わうことができない経験をし、より一層心豊かになれたと思います。感謝いたします。

私は、モデスティの代表として、社員さんの幸せ、成長、たくさんのことを望んでいます、与えてあげたいと思っています。もし豊友会と出会わなかったら、社員さんに与えてあげられるものが乏しかったと思います。今回のミャンマーに保育園を立てるお手伝いのできたことで、モデスティの経営目的、「社員さんの成長と自己実現、働く女性の経済的自立と社会的地位向上、お客様の期待に応え、美と健康を通して社会に貢献する」が、ほんの少しですが実現出来ました。良かったです。

日本と比べ信じられないような暮らしぶりの方々をたくさん拝見し、いかに自分が豊かで自由、恵まれている国に生まれてきたこと。改めて日々感謝して生きていかなければいけないと思いましたし、自分の周りの人に伝える使命を感じました。

この経験を必ずこれからの人生に活かし、もっともっと世の中に貢献できる会社を作ります。そして、素晴らしい人間性の社員育成に力を尽くします。

近藤代表、水谷緑さん、ミャンマー豊友会の方々、ナイスミャンマーの方々
社員共々、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

日本ミャンマー豊友会
第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデスティ 右崎知弥

私は初めてのミャンマー訪問でした。

今回、弊社社長の毛受が、豊友会にてハートメディカルグループ会長の水谷様より、保育園建設支援のお話を頂き、弊社の10周年を記念するタイミングでお声をかけて頂いたことがきっかけとなり、訪れることが出来ました。

日本ミャンマー豊友会様共々、訪れるきっかけを下さいまして誠にありがとうございました。

今回のスタディーツアーは、参加者全員が女性という、歴代で初めてのツアーになったとお伺いしました。

ガイドさんも女性のピューさん、ミャンマーの空港に着いてから帰る際まで見送って下さいまして、素晴らしい通訳とご案内を下さって、私達にはとても心強く安心してミャンマーの旅をすることが出来ました。ありがとうございました。

まず今回訪れるにあたって、近藤会長より様々な資料を頂き、お話をお聞きする中で、ミャンマーとはどのような国なのかを事前を知ることが出来ました。

ただミャンマーを訪れてみて、今のミャンマーを伝えるのには中々難しいのだと知らされました。

ミャンマー最大の都市ヤンゴンと今回訪れたヘーホーでは、発展の差が違うということ。ヤンゴンでは都市化が進んでおり近代的な高層建築、黄金に輝くパゴダが混在しており、この街の独特な表情を作り出していました。

一方、ヘーホーではインレー湖を中心に船での移動や高床式住宅、レンガの家など、田畑が多いこと、まだ発展途上で昔の日本を思い出すような雰囲気がありました。

飛行機からみた景色もヤンゴンとヘーホーでは全く違うものでした。

弊社が美容の会社なので気になったのが化粧です。地方ではタナカが主流のようですが、ヤンゴンでは外国の化粧品が入ってきているようで、タナカは使用されていないようでした。

そして、今回訪れてみて一番感じたのはミャンマーがとてもいい国だと思った事です。ミャンマーの人々は皆やさしく、仏教の功德を積むという教えが体現されているようで、日本人も見習わないといけないなと思いました。そんな人柄に羨ましくも感じました。よく海外に行くとスリや子供を使ってお金をせびる行為を見かけますが、一度も遭遇しませんでした。

日本人は宗教に寛容な民族性を持っていると思いますが、日本人も良い教えは小さい頃から教えてごく当たり前のことになってほしいものです。

私ももし子供を産んだ際には、良い教えはしっかり伝えたいと思いました。

世界中が平和になるために、微力ですができるところしていきます。

2日目にヤンゴンからヘーホーへ到着し、式典の為、シャン州パオ族のレモン村へバスで向かいました。バスでの道中、町並みを見ていくうちに田畑が広がり、村が出てきての繰り返しで、村ごとに寺院がありました。

ヘーホーの支援した幼稚園の村まで非常に長かったせいなのか？着いた際は、なんとも言えない感情で胸が苦しくなり、自然となみだ目になっていました。

村中の人々がお出迎えして頂き、バスから降りると道の両脇に村の人々が緊張した表情でこちらを見て下さっていて、写真を撮ったり、手を振ってくれたりして下さいました。

他の校舎内でウェルカムドリンクなどを頂き、日本から持っていった鯉のぼりを泳がせました。建設した保育園も立派に建っていて、その前でテープカットを行いました。

その後、開園式にて、村長さんや教育のお偉いさん等の挨拶があり、子供達による歌や踊りを拝見させて頂きました。日本からの紙芝居やお菓子などをプレゼントもしましたが、逆にピーナッツやもち米のプレゼントまで頂き、本当に感謝されっぱなしでした。

この保育園で小さいうちから教育できる環境が提供できて嬉しかったですし、この保育園で育った子が将来日本との架け橋となって活躍してほしいなとも感じました。

弊社として募金は毎年しておりましたけど、支援したものが形となって、間近で喜んでくれる人々を拝見できるなんて素敵なこと、めったに出来ないことだと改めて感謝の気持ちでいっぱいでした。

また10年後、20周年にでも支援できる会社になりたいと改めて思いました。そのためにも、もっとお客様が喜んで頂ける会社に管理部として何が出来るか考え、縁の下の力持ちで会社をバックアップしていきます。

その後、教師を目指している学生さんの学校を訪問し、私の寄付したピアノなどを贈呈してきました。日本でも知っている曲をピアノやリコーダーまで使いこなすとても上手に演奏していて、支援したものが活用されていて、音楽は素晴らしいなと思いました。予定していなかった軽食も用意してくださっており、本当に優しい人達だと感じました。

4日目には女性のみの孤児院を訪問しました。バスでは孤児院に迎えられないこともあり、自転車のサイドに2人乗れる珍しい乗り物に載せて頂きました。孤児院に着いた際たくさん女の子たちが迎えてくださり、教室に入らせて頂きました。施設はとてもきれいに使用されていて、一青窈さんが寄付してくださったトイレを誇りに思っているようでした。お祭りの踊りを見せて頂き、一緒に踊ることもできました。日本から持っていったたくさんのお菓子やおもちゃを贈呈して、とても喜んでもらいました。とても人懐っこい子達が多く、自分たちが親になったような感覚も味わいました。この子達も教育を通して立派な大人になって色んな所で活躍してほしいなと思いました。

今回のミャンマー訪問は、一生の中で貴重な体験と記憶に残る旅となりました。日本が戦後支援して頂いたミャンマーへ少しですが恩返しが出来ましたし、これから益々発展していくミャンマーが楽しみです。そして、またいつか訪問したいと思います。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ

氏名 豊友 聖子

ミャンマーの旅行前がとくに「ほいほい」の合戦が1ヶ月で10周年
 をむかえ、また、ミャンマーに保育国を作るとは10年前
 は考えてもいませんでした。そしてミャンマーと10年間の名前が
 開いたことはありましたが、どんな場所にあるとどんな国なのか
 まったく知らず。ただ、行く前は不安でした。どんな場所なのか
 ネットで探してもあまりでてこず。YouTubeで調べて少しはあり、
 旅の動画がのこりあり。たまたまミャンマーの雰囲気か、あがり
 くらいでした。トビも心配。お水も心配。虫も心配。
 心配だらけのスタートでした。しかし、ミャンマーのことを知ると
 いくことで、とても刺激的で、日本では味わえない経験を得る決意
 をした。決意の心が動く感動を学ばせていただきました。
 本日は、孤児へ行ったり、村の生活をしたり、保育国の開業式など
 本日は、衝撃的で、なにも胸が熱くなり涙が止まらなくて
 きました。日本ではあたりまえに受けられる教育が、受け
 らない現状。その中でも、懸命に勉強している姿。
 日本は本当に恵まれていて、決意のこころを渡す環境
 でありたい。夢、目標、そして人を思う心。
 感謝を伝えること、決意のこころではと感じました。
 日本に帰り、自分がなすべきことを考え、仕事を通して
 お客様にミャンマーの旅の話しをし、自分達がいつか
 思っていることが、未来に渡す環境つくりが
 でき、子供と子供が未来を渡す環境つくりが

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ

氏名 倉地七奈

スタディーツアーに参加させて頂き、ありがとうございました。

人生で初めてミャンマーを訪れることができて、どんな所なのかという興味と不安でいっぱいでした。会社ができて10周年という節目にミャンマーに保育園を建てることができたことで、中にはたくさんの人々に喜んで頂けることができて喜びや感動を味わうことができました。

「美と健康を通して社会に貢献する」いつも変わらない信念で語ってくださる社長の言葉が力になりましたその瞬間を目の当たりにし、とても感動させて頂きました。自分達が大好きなお客様に喜んで頂いた結果として世の中にまでお役に立つことが出来るという経験を経験を通して体感できたことが本当に良かったです。孤児院にも行かせて頂いたし、街中を歩いたりする中でも実生活が同じ時代を過ごしていることを考えることが難しい生活をされている状況を知り、言葉になりませんでした。

いかにして日本が恵まれるくらい恵まれているか、そして幸せや感謝を感じましたが、それと同時にもっと夢や目標をもって我々の方々、人のために役立つことをもっと行動していくべきだとも感じました。

ミャンマーにはお金では買えないたくさんの気付きを頂くことができたし、人と人の温かいつながりや思いやりがたくさんありました。私がこれから出会うお客様にもこの感動と気付きを語り続けもっともっとお役に立つ自分になります。

そして美と健康をエッセイを通して伝え、もっと社会に貢献できる会社や自分になります。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ

氏名

峯尾千鶴

今回スタディーツアーに参加させて頂き、誠にありがとうございました。

「保育園」を設立することは、とても素晴らしい事だな、でもなぜ「ミャンマー」に、このような風にしか興ってもいられないでした。

初日の団結式の中で水谷会長よりなぜ「保育園」を設立するのか、なぜ「ミャンマー」なのか、今この活動をする事によってどうなるのかを私たちにも分かりやすくお話をして下さいました。お話を聞く中で、まさか私の人生でこのような体験が出来るなんてと不思議な気持ちでした。

次の日、まがハーフに着きよくテレビで見る「こんなこに日本人」のような僻地で昨日同様不思議な感覚でした。

村に到着した際は、村人全員のあたたかなお出迎えや言葉は角じなくても伝わるおもてなしの心。

日本と比べ、平均寿命も短い、快適な空間もない、学ぶことすらままらない環境の中、なんて素敵な笑顔なんだと感じました。私たちをあたたかく迎えて下さり、孤児院もそうだが喜んでくれる姿を見て、じわじわときました。

人の幸せってやっぱり人のお役に立つ時に感じるんだなと。

このツアーで「ミャンマー」で出会った方々に教えて下さったことたくさんあります。あたり前があたり前ではない事、夢・目標のもてるすばらしさ、人の幸せとは何か。10周年を機にこのツアーに参加でき感謝の気持ちでいっぱいです。

今私ができることは、スタッフ、お客様、会社のために自分自身のなりたい自分になるために一生懸命お仕事をすること。

今ある環境に感謝の気持ちを忘れないこと、そして

日本ミャンマー豊友会
第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ

氏名

峯尾 千鶴

今回のツアーで感じたことを伝えていく事です。
自分だけでなく、新人教育、今後出会う仲間たちに
常にこの感動を語る自分になります。
そしてたくさんの方のお役に立てる自分になっていきます。

株式会社モデステイ

氏名 山田 綾子

ミャンマースタディーツアーに参加させて頂き本当にありがとうございました。
また。5日間を通して 普段 経験できない事をたくさん経験
させて頂きました。参加前には 正直 不安な気持ちもありましたが
初日 結団式で 水谷会長さんから ミャンマーの現状を聞く事ができた
教育ができない中 ミャンマーに 保育園を設立するこが 出来た事の
意味を 深く理解する事ができました。2日目の 保育園開園式に
参加させて頂いた時は バスをおりた時点で 村の方達のお出迎え、みんなの
笑顔で 私達の事を 心から歓迎してくれている事が 実感でき 感極まる
思いでした。私達もプレゼントで頂いた 民族衣装のロンジーを着て 村の方達
と一緒に居れた 感じで 式典に参加させて頂きました。

保育園の中には 社長の 写真が 飾られていて 本当に 感動で
いっぱいでした。いつも社長が 伝え続けてくれている 「私達は 美と
健康を通して 社会貢献する」ということが 目の前で 実体験
でき 私達の頑張りから 形となり ミャンマーの方達のお役に立つこ
ができた事、また、(株)モデステイで 働いている 事への 感謝の 思い
が あふれました。 食事中でも 食事のおもてなしをして頂き 食事が
なるほど みんなが おどろきに 来てくれたり トイレに行く時にも 自ら進んで
ご案内の 場合、してくれたりとおもてなしの じ 人々の 優しさ に 心奪
われる ことができました。民族教育大学では 学生の 方達の キラキラ 輝いた 目
全員が 笑顔で 私達の 事を 迎えてくれて ピアノの 演奏や歌も
とても 感動でした。孤児院では 私達の プレゼントを 嬉しく 喜んで 最高の
笑顔で 一人一人が 輝いて 見えました。この5日間 ミャンマーの方達と たくさん 交流し
今 私には 日本が 本当に 恵まれた 国にいる 事 参加前 への 感謝の 事
も たくさん 出来た 事が たくさん あります 感じました。今回 会社が 10周年を迎え
今年のお客様 今年におかれ頂いた 仲間 に 感謝の 最高の おもてなしをし
る 目標に向かって 私達が 頑張る ことで 社会貢献し 成長し 立つ 自分になります。
ミャンマーでの 学びを 伝え 続けて 20周年で また ミャンマーに 貢献 いたします。
今回 参加させて頂き ありがとうございます。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデスティ

氏名 荒木 麻里

スタディーツアーに参加をさせて頂き、ありがとうございました。

今回、社員旅行として行かせて頂き、本当に心に残る体験を沢山させて頂きました。

ロウエモン村に着き、バスを降りた瞬間、村の方が出迎えをして下さったり、皆さんで手伝いをして色々な装飾をして下さっていたり、子供たちの笑顔や歌など、全てのものがとても温かく、バカ々々も嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

孤児院にも行かせて頂き、自分の中のイメージとは異なっていました。勝手なイメージでしたが、孤児院と聞いていただけ、あまり明るいイメージはなく、どちらかというところ暗いイメージを持っていました。

もちろん、私たちが来ているということもあると思います。子供たち一人一人には色々な事情はあると思います。ですが、どの子も本当に素敵な笑顔で、一糸帯にダンスをしたり、歌をうたってくれたり、普通の子と何とも変わらないのだと思いました。

「美と健康を通して社会に貢献をする」という言葉をネエ長から常に言ってもらい、今日の前のお客様のために頑張るこれが、糸吉果月と世の中のためと思ってきました。それを今回、実際に喜んで下さっている顔を直接見る事ができて、とても嬉しかったです。

そして、ミャンマーに行き感じたことは、「今」にもっともっと感謝を持って、そして再度、サロンに来て頂いているお客様に、心から喜ばれるサロンを作りたいということでした。使命感をもって今日からまた頑張ります。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ

氏名

不鳥 梨加

ミャンマーに行かせていただき、ありがとうございました。

初めに行き、一番思ったことは日本とミャンマーの生活が全く違うところ

事と、日本は恵まれているので、日々の生活に感謝が足りず、自分

だけじゃなくて、周りに対しても、もっとこうして欲しいと我がでてしまっ

ていると感じました。ミャンマーに学校を建て、開園式に参加し、

あれだけ99の方が氏名を参加してくださったし、歌のアレンジや

食事もお持ちくださり、おもてなししてくださった事に又対して、

社長と豊友会のつながりがなければ、ミャンマーに学校を建てられな

かっと思う。本村の人が学校ができたことに喜んでくれるところ

感動も味わえなかったと思う。日本だと学校があるのが

当たり前で、教育を受けられるのも当たり前だが、ミャンマーでは

それが普通でなくて、日中外で小さい子どもも売子として働かされて

いる現状も、緑さんもおっしゃっていたように小さい子の未来の為に、

教育というのがすごく大切だとミャンマーに来て改めて思いました。

このお仕事をさせて頂いたことで、今の2010年代女性の美と健康を

通じて社会貢献できることや、エステ業もこれが本命になっていく、

2010年代女性の教育をしていく場というのを常に社長や豊友会に

言っていたので、日本に比べると、ミャンマーには直接は関わりが

ない女性や絶対的に関わりが大事で、私はこの仕事を通じて、外面で

内面もきれいな女性作り、そしてミャンマーの事もお客様に伝

えていると思う。自分のがんばりで、ミャンマーに学校が建てられ、世界の

遠くの人喜んでもらえると思うと、今の自分ではなく、もっとも、

も高めようとおもって、通じてくださり、お客様、会社に貢献します。

ミャンマーに行き、自分も日本でもかかっている人はたくさんあると

思ったので、今自分の仕事で、一生懸命やり、今の自分の使命を

果たしたいと思います。

遅くまで申し入ありがとうございました。よろしくおねがひ致します。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ

氏名 本田 春菜

4日間 貴重な時間をいただき本当にありがとうございました。

今回のスタディーツアーに参加して、多くの刺激をいただき、仕事に活かす決意をいたしました。

まず、シモン村に行かせていただき、あつたにも多くの村の方達に出迎えていただき、とても嬉しかったです。思いが涙が出そうになりました。その後の孤児院への訪問でも必ず食事を作って待つくださる皆様の姿に感動しました。シモンの方々はとてもあたたかい方ばかりです。

インレー湖の観光はとて素晴らしいです。言葉が通じなくても皆笑顔で接してくれます。同時に日本人は子どもに悪戯する人が多いと思われました。

シモンに住んでいる人はもう十分幸せだと感じる人は多いかもしれません。今回私は日本から来てシモンでの暮らしを目の当たりにして、日本は本当に豊か(天国)なのだと実感できました。なに私も世界に出かけて実感です。ここで、豊かだと当たり前だと思っている人がほとんどだと思います。その国を感謝もせず、不平不満を言っていた過去の自分に腹が立ちました。元々生きている意味がわからなかったのですが、このスタディーツアーを通してやはり私は人のお役に立つために生きてきたのだと実感できました。残りの人生、目一杯人のために働き続け(今では言えば来てくださる皆様)、悔いのない人生を歩くと決意しました。

このように機会をいただき本当にありがとうございました。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ 氏名 杉浦 綾

ミャンマースタディーツアーに参加させていただき、

ありがとうございました。

4日間毎日が、今まで経験した事がなく、そしてこれから

経験する事ができないくらいの刺激的な日々でした。

保育園の式典に参加させていただいた日は、素晴らしいおごむかえ

をしていただき、実際の建物も見ることができ、すごく実感できました。

「社員貢献」という言葉を口にしてはいたり、

お客様に喜んでいただけて貢献すると掲げていても、

漠然としたイメージしかなかったですが、保育園という形を

見る事で、すごく実感しました。

他に孤児院に行かせていただいたり、現地の方の生活も

見る中で、日本という不自由のない所で、自分のやりたいお仕事を

できているという環境は、本当に当たり前ではないのだと

感じました。現代の人は、私も含めですが、今の生活が普通で、

快適なのが当たり前すぎて、不平不満があったり、不満が多いのだと

感じました。当り前の生活や、身近にいる人達にも感謝を

もって、思いやり合いながら接していかば、人としても、国としても

もっと穏やかになるものだと思います。

私自身、この様に感じたり、「日々の当り前に感謝をする事、」

「目の前の事に一生懸命に努力する事」の大切さを感じた事で

それも心の成長になったと思っています。

たくさん刺激をいただいた旅行だからこそ、感じた事を言葉にい

行動にすることが一番大切だと。お客様に愛情を注ぎ、

美しい女性を増やす事が、今、自分にできる事なので、心のある

仕事をし、会社に貢献し、それがまた社会貢献になるよう

頑張ります。

日本ミャンマー豊友会
第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ

氏名 萩野祐美

今日エスティーリアーに参加させて頂きありがとうございました。私も
私も今回初めてミャンマーへ行かせて頂きましてのロケメン
トでは想像していた以上にインフラが整っていない中、
電気が当たり前にあつた生活とはやはり違っていました。
昔の日本に生まれた時にこの置かれた環境に気がついておらず、無い所へ
行き初めて有り難さを感じることが出来ました。本当に全てに
感謝の気持ちでいっぱい感じられました。

また、印象に残ったエピソード、ミャンマーの子供達の笑顔です。
本当に心からの笑顔が目に見えてキラキラと見えたり。
目が熱く感じ、言葉は通じませんが笑顔だけで歓迎
してくる姿に感動が伝わると感じました。今日会社
10周年の節目でこのミャンマーに連れて来て頂きまして、また10
周年時ミャンマーに保育園を贈りたい、またこの地に居る子供達
と子供達の笑顔を見たいと感じました。仕事を通じて人々の
お役に立ち社会貢献する。毎日毎月の自分の頑張りが
ミャンマーの子供達のお役に立ちたいと頑張りたいと見ると
また人生を思い返してはお仕事に取り組みたいと決意することだ
と実感しました。会社の20周年に向けて更に使命感を持って頑張
ります。

そしてこの旅でお会いした水谷様はじめ、本当に皆様と
この活動に情熱的に取り組まれている、世の為人の為に御礼
送らせてくださる素晴らしい方々と感じました。私も働いて頂いた
お金と全て自分の為ではなく、社会に少しでも貢献します。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデステイ 氏名 福田 絵里子

この度は、ミャンマーのスタディーツアーに参加させて頂き本当にありがとうございました。今回、保育園を見に行かせて頂いて、村中の子どもが保育園が出来たことに対して、とても喜んで下さり、私達を温かく迎えて下さる姿にとても感重かしました。今までは、会社として募金をしていることや、保育園を建てるということは、聞いていても、社長がして下さっているという感覚がけ。今回、実際に行って頂き、お仕事を済し、社会貢献さがあるということも形として、実感することが出来ました。普段の、サロンのお客様をキレイにする、お客様のお役に立ち、ここに自分たちが元気づくことで、さらに、出会い、たこと、なれた人々のお役に立てると思ふと、素晴らしいお仕事に就かせて頂いていることに感謝しました。そして、また、この機会が持つよう、日々、お仕事を元気づけようと思えました。また、保育園や孤児院、大学で、私達、ために通ったり、歌や食事などのおもてなしにも感動しました。日頃、自分も来て下さるお客様に対して、感動あるサービスが出来ているかなとも感じました。今回、保育園が出来たのもお客様のおかげで、まごは、目の前、お客様に、自分が喜んで頂けるよう、お仕事をします。

そして、ミャンマーの人々の暮らしに思いやり、改めて自分も、恵まれた環境で生活していることに、感じました。教育の始まりとかが保育園、正しいことと正しいことを教えるのが学校というお話を聞いて、日本は当たり前に行っている教育現場があることも、世界では当たり前ではない人々が「お母さん」「お父さん」と思いました。ヒューさんの最後のあひつで、私達に来たことありがとうございましたと言っておりました。自分もお土産料がもらえる、子供たちも学校に通える、ごはんも食べられた、みんな喜んでくれた、当たり前なことにも自分も感謝です。良い環境で生活しているからこゝろ、も社会や他人へのお役に立てる人になりたいと思いました。今日、本当に貴重なお土産をさせて頂いたことに感謝です。自分自身も、たまたまのお客様に喜んで頂ける自分になります。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデスティ

氏名

水越舞子

はじめて、スタディーツアーに参加をして、テレビや
社会などで学んできたことなどをリアルに体験し
ていろいろなことを感じる事ができました。

まず、村の子たちが勉強できる環境がととのって
ないこと、同じ人間として生まれた地が違っただ
けで、日本の昔の暮らしを現代でもされている事実
を手のあたりとして、今の環境のありがたさや
日本への感謝や祖先への感謝がより深くて
きました。

そして、こんな幸せな環境でも満足できてない
人たちがいること、ミャンマーの人たちは、今の環境
でもできる笑顔で生きているところ、本当に考えさせ
られます。

この会に出会って今を幸せと感じれる自分になれ
ていることの感謝とこういう旅行に行かせて
いただけただけの感謝がとてもしました。

この学びをお客様や周りの人に伝えて、
今のすばらしさ日本のすばらしさも伝えていきます。

日本ミャンマー豊友会
第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデスティ

氏名 安江 裕理

まず、素晴らしい体験をさせて頂いた日本
ミャンマー豊友会の方々、通訳のヒューさん、
社長、そしてツアーの間 サロンを営業して
くれているスタッフの方々に感謝です。

ツアーの中で一番感動したのはい、
保育園を寄贈した村で歓迎印を受けた
ことです。

車でテレビのワニシンの様に何千人という
村の方々が音楽を奏でながらお出迎えて
してくれていました。鳥肌が立ちました。

正直あまり深く考えていませんでした。が
保育園を建てることでこんなによろこばれるとは
思いもありませんでした。

創業10周年、これまでの先輩方、通じて頂いて
いるお客様、会ったことのないお客様...

モデスティに関わって頂いた全ての方々の
おかげでできたことだと思っております。

これからのモデスティを担うのは私たち、
ミャンマーの未来を担うのは出会った若い子供たち。

環境はちがいますが、未来に向けて
バトンをつなぐのは一緒です。

まずは目の前のお客様を大切にし、

また、ミャンマーで保育園が建てるよう、
日々を大切にして元気で頑張ります。

日本ミャンマー豊友会

第29回スタディーツアー 感想レポート

2018年7月25日～29日

株式会社モデスティ

氏名 大木 麻友美

5日間 スタディーツアーに行かせて頂きありがとうございました。

ミャンマーに行かせて頂いて、当り前の様に学校に行かせて
くれて、何となく自由ない環境で育てくれた親に感謝
する事ができました。

ミャンマーの人々は 学校に行きにくくても行けなかったり
食べ物や 衛生面などが整っていない中での
生活をしていても 皆さへとても温かいお出迎えして
くださったり、おもてなしをしてくださったりととても
感動しました。

子供たちはいろいろな事情はあると思いますが
どの子も明るく元気な笑顔でした。

豊かで幸せなはずなのに不平不満を言っていて
いると思いました。

今ある物や環境がすべて当たり前ではないこと
感謝する気持ちを忘れてはいけないと思いました。

社長が常に言っている「美と健康を通じて社会に貢献する」
これが形となって見ることができた時とても感動しました。

今回 沢山の貴重な体験をさせて頂いても、と人の役に立ち
社会、世界にも貢献できる人になりたいと思いました。

お客様、スタッフ、会社のお役に立つ人になる為に
与えて頂いている役割に使命感を持ち、お客様に喜ばれ
沢山の人があふれるサロンにします。